

推進体制

当社は、経営会議の諮問機関として「サステナビリティ委員会」を設置し、気候変動対策を含むサステナビリティ領域全般に関する課題の審議やグループ全体のマネジメントを行っています。審議を通じて特定された重要なリスクは、その内容に応じて「グローバルリスク管理委員会」と連携したリスク管理を行っています。

両委員会での審議事項は、業務執行に関する重要事項を審議する経営会議での決議を得て、取締役会に上程しています。経営レベルでサステナビリティへの取り組みに関する意思決定を行うことで、当グループの持続的な成長と社会課題の解決に努めています。

サステナビリティ委員会

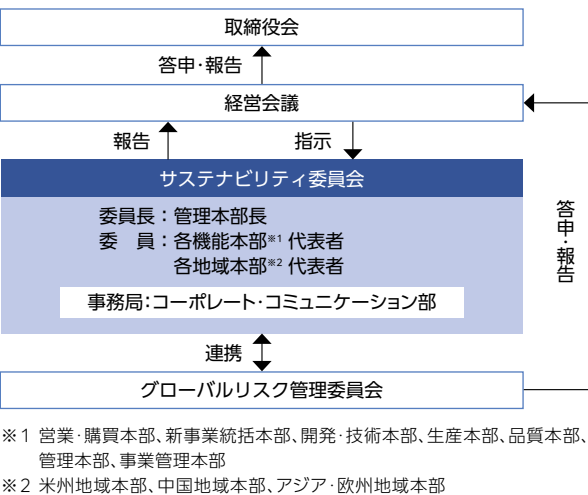
役割

経営会議の諮問機関として、サステナビリティに関する方針の決定や関連目標の進捗管理、重要施策の審議等を行います。

- マテリアリティKPI目標の達成に向けた進捗確認（年1回以上）
- 2050年カーボンニュートラル実現に向けた施策の審議
- サステナビリティに関わるリスクと機会の特定、シナリオ分析
- サステナビリティに関する社会動向と課題の共有
- 社内のサステナビリティに関する意識醸成を目的とした制度の設置と運用

委員会構成

同委員会は、管理本部長を委員長として、各機能本部長、各地域本部長を委員として構成しています。また、事務局はコーポレート・コミュニケーション部が担っています。



活動計画

年3回の定期開催を基本とし、必要に応じて適宜開催しています。

2025年3月期 活動実績	主な議題
第1回 2024年 5月30日	- 気候変動によるリスクと機会の定量評価および情報開示に関する審議 - 社内表彰制度（社会貢献活動賞）設置に関する審議
第2回 2024年 10月31日	- TS行動規範・指針、環境基本方針改訂に関する審議 - 気候変動、生物多様性に関する施策の報告 「ティ・エス テック基金」の寄付に関する報告
第3回 2025年 3月19日	- マテリアリティを踏まえた2030年目標達成に向けた進捗状況確認 - CO₂削減施策（省エネルギー、再生可能エネルギー、Scope3）に関する報告 - 人権リスク調査結果や施策に関する報告 - 社会要求やESG外部評価結果からの課題共有

サステナビリティ意識醸成への取り組み

当グループでは、企業理念「人材重視」「喜ばれる企業」の体現と、持続可能な社会の実現に向けて、各地域で多様な社会課題の解決に貢献する活動を展開しています。これらの取り組みの中から優良事例を選定し、社内で共有・浸透させることを目的として、年1回「サステナビリティ賞」と「社会貢献活動賞」として社内表彰を行っています。活動に携わった社員を表彰し栄誉を称えることで、社員一人ひとりのモチベーション向上とサステナビリティ意識の醸成を図っています。

サステナビリティ賞

事業活動を通じてマテリアリティのKPI達成や社会課題の解決に貢献した取り組みを表彰する制度です。2025年3月期は、以下の2件を優良事例として選定し、活動に取り組んだ社員を表彰および報奨を与えました。

1.オリジナルリサイクル樹脂の開発による環境負荷低減への取り組み

現行材と同等のコストで使用可能なリサイクル樹脂材の開発により、環境負荷の低減に貢献することが期待されます。

2.タイ拠点における売電事業立ち上げと太陽光発電による環境負荷低減への取り組み

難易度の高い売電ライセンスを取得し当グループ初の新事業を確立しました。今後、タイ地域における収益向上・環境負荷低減に貢献していく見込みです。

社会貢献活動賞（2025年3月期新設）

事業活動だけでは実現できない社会課題の解決への取り組みに対し、年に一度表彰を行い栄誉を称える制度で、海外を含めた当グループ各拠点において会社が主導した全ての社会貢献が対象となります。初年度である2025年3月期は多数の候補からサステナビリティ委員会で審議の上、15件を選定・表彰を行いました。

環境部門	1件
教育支援部門	6件
地域貢献部門	8件

社会貢献活動賞 受賞例

地域と連携した森林保全活動

栃木事業所



「地域スポーツ」と「地域子育て支援」を融合した教育活動

株式会社ホンダカーズ埼玉北



食品支援プラットフォームと連携したライスパッキング活動

TS TECH (HONG KONG) CO., LTD.

